

佐久市佐久つと支援金事業 自己評価報告書

評価日 27年 10月 13日

団体名	ダンスクラブKDC		
事業名	「信州SAKU COLLECTION 2015」		
対象経費	1,057,382円	支援金額	365,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>ファッション産業を通じて、地元根付く若者を増やし、佐久地域のファッション産業での雇用を増やすため、美容師やアパレル産業で働く人たちの横のつながりをつくる。</p> <p>さらに、毎年行われている、佐久商工会議所の産業展「ぞっこんさく市」のファッション関係の分野を強化することで、将来的に工業ブース、食ブース、美のブースなど、分野別にPRが展開しやすくなり、最終的にはオール佐久の「美の祭典」という位置づけに成長できるようにする。</p>
	<p>内容</p> <p>「ぞっこんさく市」において、ヘア&ファッションショーの開催を行った。</p> <p>今年は2部構成とし前半にヘア&ファッションショーを行い、後半は各サロンごとにコンテストを行う。今回のコンテストは「プリンス&プリンセスコンテスト」とし、サロンとアパレルが各チームタッグを組んで「トータルコーディネート」のコンテストを行った。また、審査員には、プロカメラマン ノザワヒロミチ氏、プロピアニスト 原いづみ氏、佐久市文化事業団館長兼芸術監督 奥村達夫氏、プロボーダー中村兄弟を迎えた。ショーの合間には佐久市内で活躍中のダンスクラブKDCのダンスショーも織り交ぜることで観客動員数を増やした。</p>

事業の活動実績	<p>10月4日(日)に佐久商工会議所のぞっこんさく市の中で「信州SAKU COLLECTION 2015」を行った。参加モデル数は26人、参加店舗は14店舗、ダンスパートのKDCは24人、観客およそ400人を超え、大変大勢の人数が関わるショーであった。グランプリであるプリンス&プリンセス以外にベストモデル賞、エレガント賞、アクター賞、コーディネート賞、やなぎだ特別賞が選ばれた。</p>
---------	---



事業の成果・効果	<p>天候にも恵まれ、観客は、400人を越え、コンテストの投票数は、316人と、集客も目標以上であった。参加店舗からは、「刺激になった」「また来年も参加したい」との声が聞かれた。翌日の信濃毎日新聞にも取り上げられて「佐久だけで十分かわいくなれる」という参加モデルのコメントが記載されていた。今まで知らなかったお互いの店舗の知ることができ、美容師や、アパレル産業で働く人たちの横のつながりができた。</p>
----------	--

自己評価	<p>事業は申請どおり実施できた</p> <p>① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	<p>事業の実施によって、期待した効果をあげることができた</p> <p>① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	<p>実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について</p> <p>1 ほとんど同じ ② 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>主な理由(2、3と答えた場合のみ)</p> <p>商工会議所から指定された場所が、野外ステージであったため照明が使えず、照明の費用がかからなかった。また、チラシについても、できるだけ安い印刷業者に印刷を依頼し、経費の削減ができた。</p>
	<p>その他、評価すべき点等</p> <p>自分たちで出来るものは、安く調達し、経費の削減を図ることができた。</p>

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>今回、3年目の開催であり、14店舗と多くの店舗に参加していただき、ショーの構成や企画が定着しはじめていると思われる。商工会からの評価も高く、信濃毎日新聞にもとりあげられた。</p> <p>今後も、このショーの構成の形で5回の開催を目指し、定着させ、「サクコレ」自体を浸透させていくことが必要と考える。さらに、受賞者に、一年間市内の様々なプロモーション活動に協力してもらい、年間とおしてのPRをしていくようにする。さらに、県内の美容学校等に参加を募り、佐久以外の地域からも「美とファッションの祭典」として集客を図り、地元根付く若者を増やしていきたい。</p>
---------	---